

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		米盛 徳市	所 属		教育学部 附属教育実践総合センター
			職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.50	<ul style="list-style-type: none"> ・学内情報システムネットワークの新規導入が平成27年度であることを念頭に入れた教育体制に入った。教育棟201コンピュータ室で行う情報関連科目の提供内容や授業で使うソフトウェア変更も予想されることから、特に共通科目や専門科目教育については将来を展望した教育方法を模索しながら授業を行っていく。また並行して新たな情報メディア研究も併せて行う。・また大学院の授業と論文の指導を行う。 		0.50	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度までは旧システムであったことから、提供科目の運営に特に支障はなかった。教育メディアとしての電子黒板、タブレット端末もあり専門科目教育について将来を展望した教育方法を模索しながら授業を行うことができた。現在「キャンパス情報システム仕様策定委員」として教育学部のコンピュータ環境を設計し、共通教育では琉球大学科目企画委員会委員「情報関係科目企画小委員会委員長」として学内全体の教育を活動した。『琉大生のための情報リテラシーガイドブック2015』の「あとがき」に委員長としての「情報科学演習」の指針を示した。
研究	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実践総合センターのマルチメディア機器(電子黒板、タブレット端末)をおおいに活用し学内外の情報教育の連携・遠隔教育の研究開発を図る。教育現場のアドバイザースタッフとして活動する。 ・ネット上の有害サイトから子ども達を守るための「闇ネット監視サイト」を構築し、青少年の「情報モラル育」のあり方を研究する。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・代表的な教育メディアとしての電子黒板とタブレット端末等の導入で研究活動とアドバイザースタッフとしての教育活動と研究成果を得ることができた。また『電子黒板・タブレット端末等の活用による防災無線LAN学習 一光インターネット回線とスーパーWiFi 無線通信併用による防災遠隔授業-』も継続的に行っている。 ・ネット上の有害サイトから子ども達を守るための「闇ネット監視サイト」は継続的に行っている。
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県マルチメディア教育研究会顧問・沖縄ITマスターズクラブ会長・日本教育情報学会理事・全日本教育工学会理事・浦添市立教育研究所運営委員会運営委員長・宜野湾市立長田小学校学校評議委員・国立大学教育実践研究関連センター協議会・常任理事・宜野湾市はごろも学習センター運営委員を担う。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> 左記に記載したこれらの社会貢献はすべて無事にこなすことができた。琉球大学を3月に退職することを考慮して継続性を検討している。
管理運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実践総合センターの「情報教育研究部門」の担当 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> 情報教育研究部門の立場から国立大学教育実践研究関連センター協議会・常任理事として『九州地区教育実践総合センターの現在・過去・未来』(大分大学教育福祉科学部附属教育実践総合センター紀要 No.31, 2013)の役割を担った。
進路指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報教育コース」が全員無事に卒業したことから今度は卒業後の進路指導を随時に行う。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> 「情報教育コース」は既に3年前に終了したが、まだ一部の学生が将来の小学校教員採用試験に専念している。就活指導は継続的に行っている。
	0.10	その他		0.10	琉球大学島嶼防災研究センター運営委員会委員。教育自一線総合センターの紀要委員長。
計	1.00			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		喜屋武 勝	所 属		教育学部 附属教育実践総合センター
			職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.60	<ul style="list-style-type: none"> ・教員養成機関としての4年間の長期計画に即し、担当科目の内容の充実、改善に取り組む。 ・「教職研究」の他、「教職指導」や「学校教育実践研究Ⅰ」、「学校教育実践研究Ⅱ」の充実に努めるとともに、系統性をもたせる。 		0.60	(1)教職科目「教職研究」の内容の充実に努めた(前期90名、後期78名受講) (2)非常勤講師(7名)・時間講師(6名)をコーディネートしながら下記科目の充実に努めた ①「学校教育実践研究Ⅰ」(223名受講)「学校教育実践研究Ⅱ」(194名受講)については系統性を持たせ、模擬授業を中心に教育実習の事前指導に努めた。 ②「教職指導」(315名受講)は夏期集中講義として学校現場への職場体験を課し、受入校と課題等の共通理解を図りながら、学生自身が教職への適正を考える事のできる講義となるように努めた。 (3)「教職体験Ⅱ」の業務へ協力
研究	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場との連携を密にし、本学における教員養成(教育実習)の課題を明確にし、改善策を講じ、業務へ活かす。 ・他大学や諸機関からの情報収集を行い、教員養成や本学実践センターの企画・運営に資する。 		0.10	(1)全国交流人事教員交流研究会や協議会や講演会、研究会等に参加し、教員養成のあり方を考え、業務へ活かすことに努めた (2)学校訪問等をおして得た本学学生の評価を、教員養成の改善に活かした (3)県委託事業「学力向上先進地域育成事業」(はごろも教育ネット)に係る推進員(オブザーバー)であったが十分な協力はできなかった
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催等の講座や講義等の依頼があれば積極的に取り組む。 		0.10	(1)JICA課題別研修(平成26年度前期、後期) 「基礎教育における格差対策の教育行政強化」に係る研修講師 「教員養成(教育実習等の具体的な養成制度の内容)」
管理運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・全学の教員養成運営協議会、運営委員会また教育学部教育実習委員会等において実践センターの立場として、また、交流人事・全学の教員養成に関わる立場から協議会、運営委員会の協議・運営に資する。 		0.10	(1)県教育庁・琉球大学教育学部定期協議会への参加協力 (2)全学の教員養成の立場から、教員養成運営協議会、運営委員会において会の協議・運営に協力。 (3)教育学部学生生活委員会就職推進部会で教員採用試験対策の企画に参画した。 (4)教育学部教育実習委員会への参加協力
進路指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校教育実践研究」との関連から学生に対して積極的に指導助言を行う。 ・教採セミナー等に積極的に関わり、模擬授業や面接指導等の教員養成対策の充実に資すると共に、個別での進路指導も積極的に行う。 		0.10	(1)学生生活委員会就職推進部会教員採用試験対策セミナーWGにおいて委員外のWG委員として協力し、県公立学校教員候補者選考試験説明会や前期、後期とも2次対策講座を担当(模擬授業指導、面接指導、県の採用試験の動向説明)した。また個人でも面接試験対策にあたった。 (2)「学校教育実践研究ⅠおよびⅡ」において非常勤講師と連携ながら適宜、教職に就く事への相談・助言に努めた。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		玉城 きみ子	所 属		教育学部 附属教育実践総合センター	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.40	<ul style="list-style-type: none"> 教育学部の教育目標を基に、学生が自ら課題を発見し、解決策を考え実行できるような対話活動等を取り入れた授業改善を図る。教職科目における理論と実践を結びつけながら学び合い・磨き合いを重視した学生主体の授業を行う。 教職体験Ⅱ、教育実践研究、教育実習、模擬授業の充実のため、学生のニーズに応じた取組や補講を行うと共に学校現場との連携を密にする。 		0.40	<ul style="list-style-type: none"> 「学生主体の授業づくり」を目指し、学生の多様な課題を焦点化し、共通課題を基に授業を展開してきた。その取組の成果と課題を明らかにするために教育実践総合センターの紀要論文に「模擬授業で学生の授業力向上を図るための実践事例～学生の課題解決に視点を当てた国語科の授業づくりを通して～」にまとめることができた。教職科目では、特にオフィスアワーの時間を活用して学生の課題解決に向けた教材研究等の支援を積極的に行い、授業の充実を図るよう心がけた。 		
研究	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 附属小学校の国語部や公立学校との連携による共同研究を行い、本県の重要課題である学力向上に向けた「わかる授業づくり」の実践研究に取り組む。 教員をめざす学生の資質向上のために大学と附属学校との連携の強化を図り、効果的な教育実習の確立にむけた研究を昨年を引き続き行っていく。 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> 附属学校をはじめ公立学校と教育実践センターとの連携を重視し、附属学校や公立学校の校内研究の課題「わかる授業づくり」等について実践研究に取り組み、その取組の内容、成果と課題を「おきなわ小学校国語授業のあじまい」に著わすことができた。 教育実習において附属学校との連携を強化し、効果的な教育実習の確立に向けて努力してきた。 		
社会貢献	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 公立学校との連携を強化し、昨年を引き続き、教員養成・教員研修・校内研修の指導助言や支援を行う。特に公立学校で行われる校内研究授業や授業研究会には、積極的に関わり、言語活動の充実に向けた授業づくりについて意見・情報交換を行い、教師の資質向上に向けた取り組みの強化を図る。 教科用図書 浦添・那覇地区採択委員として使命感と責任感を持って役割を果たす。 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> アドバイザー派遣事業の活性化に向けて公立学校との連携を強化し、公立学校の多様な要望に応えるべく、講話や指導助言を積極的に行った。今年は、特にMSPの学力向上の授業づくりにも関わり、対象校の教員と共に充実した学びができた。また、総合教育センターや市立教育研究所等で講話や免許更新制の講話を行い、教師の資質向上に向けての連携の強化を図ることができた。 教科用図書、浦添・那覇地区採択委員会委員長としてその責任を無事に果たすことができた。 		
管理運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携部門会議や教員養成運営協議会の協議・運営に積極的に参加する。 NARAEネット推進会議では事務局副次長として会議のスムーズな運営に努める。 教職体験Ⅱでは、公立学校との連携を密にし、円滑で有効な学びのある体験活動の実施に努める 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携部門会議や教員養成運営会議には、欠かさず参加し、協議・運営に積極的に関わるよう心がけてきた。 NARAEネット推進会議の事務局副次長として市立教育研究所との連携を図り、会議の議事内容の作成やスムーズな運営に努めてきた。 教職体験Ⅱでは、公立学校との連携を強化し、円滑で有意義な体験活動の実施に努めた。 		
進路指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 教員採用試験2次対策で模擬授業や面接等の講師を務める。 学内の認定試験(国語科)では、教員採用試験対策に適切な作問を行う。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> 教員採用試験の2次対策では、模擬授業や面接の講師を務めた他、学生の論文添削にも関わることができた。 学内の認定試験(国語科)の作問と解説を担当し、2回にわたって教員候補者採用選考試験に向けて適切な作問や解説を行うよう心がけてきた。 		
	0.00			0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			